

「靱公園の歴史と管理」

2011年11月4日

講師：大阪市ゆとりとみどり振興局緑化推進部

西部方面公園事務所長 三原 桃子氏

都市公共政策研究分野 「ワークショップⅡ」

担当教官 久末 弥生先生

記 録 柴田 隆文

大阪市の公園

- ①都市公園法による都市公園：靱公園等 <市ゆとりとみどり振興局>
- ②港湾法一臨港緑地の公園：舞洲アイランド、咲洲緑地、南港野鳥園等 <市港湾局>
- 国営公園（大阪市に所在）：淀川河川公園 <国土交通省近畿地方整備局>

都市公園の種別

- 住区基幹公園：1小学校区に街区公園4つと近隣公園1つを標準として配置。地区公園
- 都市基幹公園：総合公園（靱公園、毛馬桜ノ宮公園）、運動公園（長居公園）
- 大規模公園：広域公園（鶴見緑地公園）
- 特殊公園：風致公園（中之島公園）、動植物公園（天王寺公園）、歴史公園（大阪城）

靱公園の歴史

葭島（ヨシ島・砂州）だったものを江戸時代初め頃 阿波堀川、京町堀川など開削し、まちを開いた。

- 1624年 海部堀川開削で永代浜に干鰯等の荷揚場。以後300年余繁栄。
- 1931年（S6）中央卸売市場が福島に開設されるのに伴い、衰退。
- 1945年（S20）太平洋戦争により焼け野原。後に進駐軍飛行場として接收。
- 1952年（S27）接收解除、公園整備（戦災復興区画整理事業）に着手。
- 1955年（S30）公園完成。テニスコート、バラ園、西園にサッカー場と小広場。
- 1997年（H9）なみはや国体開催。サッカー場取壊し、西園は全面テニスコートに。
- 2006年（H18）第14回世界バラ会議開催を契機とした東園のリニューアル。
→ 野宿生活者テント15件代執行

***韌**：魚問屋（伏見町）の‘やす’の掛け声に、豊臣秀吉が「矢巢」（やす・矢を入れる道具と同義の「韌」（うつば）と言ったことからその地域を韌と言うようになった等、いくつかの説がある。

韌公園の現況

- <規模 : 9.7ha 東西800m、南北150m
- <東園と西園 : 東園～バラ園、ケヤキ並木、いのちの森、自由広場、遊具コーナーなど
西園～テニスコート(世界ジュニアなど)、地下駐車場など
- <公園事務所 : バラ園、樹木及び遊具等の管理。占用等の許認可。公園利用の啓発。
- <自由広場 : 幅広く活用されている半面、火器を伴うバーベキュー対策など課題。
- <広域避難場所 : 飲料用耐震貯水槽、災害用仮設トイレ35基。
- <イベント運営 : 「バラ祭」（地域と区役所共催）、「花と彫刻展」（芸術団体と市共催）。
音楽イベントは民間主催。テニスコートは指定管理で民間運営。
- <周辺の変貌 : H10年頃から‘おしゃれな店’進出←韌公園が周辺の地価向上に貢献？
- <韌公園自然研 : 地域ボランティア、昆虫観察会、展示会、季節ごとの案内板等設置。

三原氏は「地元の協力（区画整理事業）により得られた貴重な市民財産を、より一層市民・来園者に愛されるよう管理運営に努めたい」と締めくくられた。

主な質疑応答（問・院生 ⇔ 答・三原氏）

- 1問 園内整備時の遺跡等への対応は。
答 遺跡が想定される場合、試掘調査。遺物出土の場合、遺跡公園として整備するのではなく記録保存している。
- 2問 ホームレス対策や、鬱蒼としている「いのちの森」など安全防犯面の対応は。
答 ホームレス問題は完全には未収束。時間外は民間ガードマン巡回。「いのちの森」では、研究会も生態系保護と防犯のバランスを考慮している。公園としても見通しの良い公園整備を心がけている。
- 3問 バラ園の予算や経費の状況は。職員による直営管理について、今後の見通しは。
答 東園は概ね4人の職員で維持管理しており、現状は大きな支出はない。技能職員の採用は凍結されており将来的には、指定管理になる見通しであり、専門技術の継承が課題。

- 4問 民間によるイベントや指定管理について、自治体側としてどう考えているか。
- 答 イベントは地域の人々が協力し、手づくり感のあるものになっており、地域のコミュニティづくりにも貢献。民間によるイベントや指定管理については、地域住民の意見を汲み上げる必要。
- 5問 靱公園周辺の住民の転入者への意識はどうか。また、公園近隣住民への還元策は。
- 答 新しいテナントなどに対する地元の意識は排他的ではなく「ウェルカム感」はあると思う。一方、高層マンション等新住民の町会組織への参加率は低調で課題となっている。地域住民の公園活用等への意見は今後立上げ予定の小学校区を基本とした地域活動協議会等で議論されていくことになると思う。
- 6問 一部の人の利用に留まるテニスコートが全面を占める西園を広場に直すことは考えないのか。建ぺい率に問題は。
- 答 国体、国際大会に向け作ったもので、利用者しか使えないとしても、現実的に廃止などはない。市全体のバランスで見たときにテニスコートも必要。運動施設は建ぺい率の特例施設であり問題はない。
- 7問 3・11東日本大震災以降、広域避難場所の内容の見直しはないのか。
- 答 広域避難場所は大規模火災時の避難を想定しており、津波を想定したものではない。津波や火災の時にそれぞれどこに避難するのか周知徹底することが重要。

久末先生まとめ

- 靱公園は高層ビルを背景に、森のある都会の公園。園内はバラ園やケヤキ並木、昆虫類も数多く棲息し、歴史遺産も保存されている。小さいながらもバランスの取れた都市公園。周辺地域のグレードアップにも貢献。「大阪のセントラルパーク」？（不動産業者談）。
- テニスコートは土壌も保全され、環境への影響が小さく環境保全になっている。
- 都市に公園、森は不可欠。都市に公園がないと町は浮上しない。靱公園をマンションにすると大阪は衰退する。公園が荒れると町は荒れる。新宿中央公園の荒廃→新宿の荒廃
*新宿中央公園（カラス、ハト、ネズミの増加など）→ 現在改善に向け取り組み中
- ヴァンセンヌの森＝公園（パリ）と靱公園は、規模は違うものの共通性。歴史やコンパクトな都市機能を有するパリと大阪の近似性に由来。
- 靱公園のゾーンを大阪全体から見渡し、ゾーニングしてみよう。都市のあるべき姿を自由利用区域と聖域にゾーニングしてみる。
- どんな人が参加するかによって、住民参加は両刃の剣となる。難しいコンセプション。